

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
1	検討の目的・目標が記載されていないため、どのような資料が必要なのか、想定が困難。	今回は、「持続可能な児童会運営をめざすこと」を目的にしており、10年後、20年後の将来につなげるための検証を行い、課題を整理することを部会の目標と考えています。	01. 資料
2	「量の整備（時間延長を含む）」、「質の確保・向上」、「その他、何か」、課題とする点をまず明確にする必要がある。	行政として第1の課題は、指導員の安定的な確保と考えています。	01. 資料
3	P2の資料について交野市の資料を示してください。	国の調査において市町村別のデータが公表されていないため、お示しすることは困難です。	01. 資料
4	P3、P4の資料について、放課後児童クラブの利用率を示してください。	国勢調査の結果に対する利用率は、対象者個人の特定が困難なので、調べようがありません。どのような利用率を望まれているのかを教えてください。	01. 資料
5	P5環境整備について、より詳細な課題改善の経過、現在の課題を示してください。（環境整備の検証・課題が見えません）	この項目については、取組みについて年表形式でお示したものです。環境整備について、児童の推計等を基に取り組んでいます。	01. 資料
6	P6校区ごとの状況を示し、今後、どれだけの整備が必要かわかるようにしてください。 （校区ごと、支援の単位数にそってないと、全体数のみでは、実態・課題が見えません。）	在籍児童数の推移をみることで、交野市全体として利用児童が増加傾向にあることをお示した資料であり、あくまで、事実のみで今後の推計については、別で示しています。 また、今回、資料3にて新たな資料を作成しました。	02. 児童数
7	P7、8、9について単純な人口予測の提示でしょうか？それとも、少子化対策、子育て支援のビジョンをもった対策にしたい、ということでしょうか？意向が見えません。	交野市の総合計画に基づく、人口ビジョン（人口推計）をお示したもので、全国的には人口減少が言われているものの、各種施策を用いることで、交野市としては、人口減少が比較的緩やかになると推計されており、その考えも踏まえる必要があることからお示したものです。	10. 人口
8	P9について子ども子育て支援事業計画では、学年別の計画が記載されています。できれば、学年別、少なくとも低学年・高学年程度に分けた資料を出してください。	資料3のとおりです。	02. 児童数

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
9	P10 支援員の確保・定着については最重要課題のはずですが、しかし、員数の推移（実数）しか示されておらず、どのような課題になっているのかわからない。	在籍児童の推移と対になる資料として、利用児童が増加傾向にあり、指導員も併せて増やす必要があったことを示すもので、あくまで、事実のみを示しています。なお、ご指摘のとおり、どのような課題なのかが見えていないものではないので、今回目標値を記載し、資料4のとおり作成しました。	03. 指導員
10	指導員の不足問題については、とくに離職理由や継続している方の不安・不満・要望など、指導員の確保・定着につなげられる検証が必要。	今回、離職理由について資料4のとおりです。	03. 指導員
11	P11について、単純計算によるものであり、現実的なシミュレーションによる予測となっていないので、根拠としてよいのか疑問。	ご指摘のとおり、当日説明もさせていただきましたが、単純な計算によるものです。しかしながら、行政の責任として、今後10年を考えた時に、これだけの人数が減る可能性があるため、最低限その分の指導員を今から確保していかないと、定員の維持・質の担保が困難な状況になる可能性があるという危機感をもっていることから、お示したものです。	03. 指導員
12	年齢構成も重要ですが、安定的事業にするには、経験年数バランスが重要です。経験年数の比率を出してください。あわせて、年齢バランス、経験年数バランスのめざしたい比率など課題となる指標を示してください。数値だけでなく、根拠の考え方も示してください。	「No.11」でお示したとおり、いわゆる、ベテランの指導員がいつまでも勤務できるわけではないということも一つの課題として考えており、経験年数のバランスについても考慮し、今から準備する必要があるため、危機感をもって指導員の雇用・育成の必要性を短期及び中長期的な課題と位置付けています。その点を含めて部会として検証していきたいと考えています。	03. 指導員
13	P12について、指導員の待遇・時間単価について、検証の視点を示してください。	直近の状況について事実を記載した資料であり、行政として、時間単価（給料）の面において、待遇が悪いものではないと考えており、その他の資料の基礎部分としてお示したものです。	03. 指導員

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
14	P13の指導員の待遇について、基本給しか示されていません。待遇を検証するのにふさわしい資料及び検証の視点を示してください。	面接に来られた方への聞き取りにおいて、給料の部分を見て来られた方が多く、まずは、他市と比較のしやすい項目として、お示しをさせていただきました。ご指摘のとおり、指導員が集まらない点については、給料以外の部分に原因があることも考えられます。そういった視点における検証の必要性もあることから、お示しできればと考えています。	03. 指導員
15	指導員の待遇「等」は、本事業の質に直接関わる重要な件です。指導員の確保・定着・質の確保・向上ができる体制等が問われると思います。休暇保障、研修保障、職員体制の状況（加配を含む）、直接保育以外の勤務時間確保（会議・打合せ・施設管理・諸機関連携・保護者対応など）などが適切かの検証を行ってください。		03. 指導員
16	指導員に関して、職員配置との関係が一切示されていません。また、時給雇用の職員についての資料が何も示されていません。よって配置面からの課題が見えません。	今回は、行政として数値から見えるものを中心にお示ししておりましたことから、職員の配置部分については、ご指摘のとおり必要な資料と考えますので、お示ししたいと考えています。	03. 指導員
17	P14検証の視点も課題も不明です。	いろいろな視点（学校数・児童会数等）から本市と同程度の規模としてお示した資料で、他市と本市で1人当たりの費用について比較したときにどうなのかをお示ししたかったのですが、ご指摘のとおりこの資料については、さらに研究が必要と考えています。	11. 費用
18	P15「所管課の業務量調査」ということですが、児童会運営に係る業務内容が示されておらず、何が「コア」なのか、「ノンコア」なのかが明らかでないため、この資料自体に疑問を感じます。また、その他業務時間とは何でしょうか。。	具体的な業務について資料4のとおりです。 なお、その他業務については、他部署の会議の出席、研修への参加等の個人に紐づけられるような業務や議会関連業務、予算等の共通業務のことで	04. 所管課
19	P16児童会運営を除く資料となっており、「児童会運営」に係る所管課業務の資料が示されておらず検証の確認ができません。児童会運営に関して、所管課の業務はとても重要と考えています。所管課業務について、主なことでもよいので明示されることを要望します。		04. 所管課

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
20	P17 市職員と課員の推移について、効率化が必要との報告を若干受けましたが、検証の視点がわかりません。	市職員が全体として減っている状況から、どこの部署であっても人数が減っていくことが予測されます。 そのため、青少年育成課の職員についても業務量に関係なく、課員が減っていく可能性があることから、児童会の所管課として、今後少ない人数でも対応できるよう、効率化を図らないと児童会の運営自体に支障がでることもありえるという視点も行政として必要だと考えています。	04. 所管課
21	P18～20 利用者ニーズ（アンケート）については、結果概要の数字が示されているだけで、そこから見える課題については示されていません。また、以前の話では、ニーズの背景も含めて、検討を行うということでしたが、それらはまだ示されていません。	保護者のニーズにどう応えるのかが大きな課題として認識しており、アンケートの結果のニーズは、そのまま課題に直結するものと考えています。 また、ニーズの背景については、部会において保護者代表の委員にご意見いただいたうえでお示しすることが、保護者の立場での検証につながると考えております。	06. アンケート
22	P19 児童会とこども園での結果が倍ほど違う項目があります。パーセンテージは別々に出してください。またこの違いの差から、放課後児童会に入所してから感じる事、気づく事等があるということが見えます。未入所の家庭が、入所にあたって安心できる整備を進めることとあわせて、入所家庭が安心して子どもをあずけ働くための整備については、現在の入所家庭の声をいっそうていねいに把握して検討することを課題としてください。	ご指摘のとおり、それぞれの割合において資料4のとおり作成しました。	06. アンケート
23	P20 児童会への感謝が多くよせられています。課題検討にあたっては、「現在の児童会でできていること、よいところ」を維持していくことは最重要課題の一つと考えます。それらを明らかにし、維持できるための仕組みづくりを明らかにすることも課題としてください。	アンケート結果だけでなく、日々感謝のお声もいただいているところです。この点については、指導員の対応等が大きな要因の一つと考えております。 なお、自由記載の内容からもアンケートを実施した時期が学校休業対応の後であったことから、その際の指導員の対応への感謝のお声が多かったものと認識しております。	06. アンケート

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
24	P2 1 児童会制度における課題と題し、おそらくこれら課題を洗い出していくための「観点」のみが提示されました。つまり、第1回目の資料報告では、課題は、報告されていません。また、ここに示されている課題分析の観点はあいまいな位置づけと感じます。「今回の検討の目的・目標」の案が明確にされていない中では、検討にあたっての課題の明確化はできるはずもない。	今回の資料は、行政として統計等の「数値」から見えるものを中心に現在考えられる課題を示したものとなりますので、目的である「持続可能な児童会運営めざすこと」について、今後進めるにあたって、部会において検証を行い、課題を整理することを考えています。	01. 資料
25	アンケートは、民間委託化計画の根拠にするものとして調査したものではない、というのは、保護者からの意見を受け、昨年度説明されていることです。アンケートは、民間委託化を推進する根拠に使うものではなく事業内容の展開に活用するものであることを再確認して活用する必要があると考えます。調査協力された保護者との信頼に関わることで、ということですので。（運営委員会にて確認いただくことを要望します。）	昨年度のアンケートについては、ニーズを把握するために行ったものであり、そのニーズに応えていくにあたっては、いろいろな可能性、形態について検討する必要があると考えています。民間委託化の根拠ではなく、今後の事業運営を検討する際に持続可能な児童会運営に必要な方策として民間委託の可能性も検討の一つと考えています。	09. 民間委託
26	全体を通じて、検討の目的・目標が明確になっていません。それも、運営委員会や部会でこれから検討されることと認識していましたが、違ったのでしょうか。	現在、児童会を運営している実施主体である行政として、一定の方向性を持った中で、運営委員会や部会において検討を行いたいと認識しており、今後、検討の目的・目標等を部会として示していければと考えています。	07. 委員会
27	検証の視点も、検証内容も記載されていませんし、検証に対する検討はされていません。	今回の資料は、行政として統計等の「数値」から見えるものを中心に現在考えられる課題を示したものとなりますので、検証していくにあたっての視点となるであろうものをお示しし、ご意見をいただく中で、検証については、お示しできるものと考えています。	01. 資料
28	「設備及び運営に関する基準」、「放課後児童クラブ運営指針」の観点からの検証がありません。	基準等についてのどの項目について検証が必要か等、今後ご意見をいただきたいと考えています。	05. 運営
29	持続可能な児童会制度をめざすにあたって、最低限必要になることは、「基準適合」の施設運営をしていくことであり、基準内容の向上をめざすことではないでしょうか。	基準の適合については、最低限必要なことと考えております。	05. 運営
30	施設整備の課題も児童の状況も示されていません。	環境整備について、児童の推計等を基に取り組んでいます。	05. 運営

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
31	障がいのある児童など配慮を要する児童・家庭のための整備も課題に入れる必要がある。	配慮を要する児童等に対する課題について重要と考えており、指導員等の配置との関係性からも必要と考えています。	05. 運営
32	コロナ禍を通じて、非常時・災害時、防災・防犯の対策検討が急がれることが明らかになりました。検討課題に入れてください。	社会的な要請に柔軟な対応をめざしていきたいと考えています。具体的にどのような課題を入れることを求めているのか教えていただきたい。	05. 運営
33	事業計画と整合性をもたせた検証・検討はここでの検討に入るのでしょうか。（フリースペースとの連携強化）	まずは、持続可能な児童会運営を中心に検討をお願いしたいと考えていますが、必要に応じて、連携強化することによる相乗効果等の検証が必要な場合もあると考えています。	05. 運営
34	お手紙には、「行政としての検証や課題の報告をさせていただきましたが」と前回の会議で、検証・課題提示に関する市の提案すべてがご報告されたような書き方ともとれ、不安に感じました。もし、そうでしたら、全体を通じて検証の視点及び検証内容はあまりにも不十分であり、現在や将来の交野市放課後児童会の実態・課題が浮かびあがっておりません。検証や課題について十分な報告はなされなかったと思いますが、お手紙の内容にとまどいを覚えました	今回の資料は、行政として統計等の「数値」から見えるものを中心に現在考えられる課題を示したものとなりますので、検証していくにあたっての視点となるであろうものをお示ししたもので、ご指摘のようなすべてを報告したということはありません。 また、今回の資料についても十分なものとは考えていないため、前回の運営委員会においても、委員の皆さまに後日メール等でも結構ですので、意見をいただきたいとお願いしたところです。	07. 委員会
35	検証は、今後の対策を検討する財産になります。丁寧に行ってください。	より活発に検討ができるよう部会を設置したところです。	11. 要望
36	今回出される全委員からの意見については、本来は会議にて意見交換が行われるものだったと思います。今後の有意義な検討に活用するため、全委員から出された意見について、開示確認がとれたものだけでよいので、資料提を早急をお願いします。	委員からのご意見につきましては、今回お示しさせていただきました。 なお、同様の内容のものは集約していますが、ご意見については、できる限り、原文そのままを記載しております。	11. 要望

放課後児童会運営委員からの意見（まとめ）

令和3年8月27日現在

No.	意見の内容等	市の考え等（現時点案）	項目
37	<p>学校施設や教育内容を改善するだけでは、保護者の不安はなくなりません。そのために、放課後の生活を安心して預けられる環境を安定的に継続する必要があります。</p> <p>将来、グラフにもあったように共働き家庭が普通になり、児童数が減少しても、児童会入室数の見込みが減らない予測が出ていました。</p> <p>「教育の交野」をめざし、子育て世代を交野に転入してもらうには、学校教育の充実と留守家庭児童会の充実があってこそ安心して交野で子育てをしていこうと思うのが、保護者のみなさんのねがいと思います。</p> <p>施設設備の充実と、指導員さんの安定的な雇用の継続があってこそ発展できると考えます。</p> <p>専門的な立場で子供たちを見守ってくださっている指導員さんの立場が不利になっては、安心安全の留守家庭児童会の継続が成り立ちません。</p> <p>今後も公営化を維持し、教育にお金をかけるのと同様、子育てにもお金を投資すべきと考えます。</p>	<p>ご意見にあるとおり、子育て世帯の転入増については、教育や子育て施策の充実が重要です。</p> <p>また、放課後児童会においては、施設整備の維持・充実や指導員の安定的な確保・継続は、重要な部分です。</p> <p>持続可能な児童会運営の検討においては、いろいろな可能性、形態について検討する必要があると認識しており、必要な方策として民間委託の可能性も検討の一つと考えています。</p>	03. 指導員
38	<p>雇用を安定させるために、交野市の指導員さんの時間給が1571円でずいぶん高いようなグラフがありましたが、最低賃金が1000円台になろうとしている今、専門的な資格や経験が必要な指導員さんの賃金を上げることが、安定的な雇用と指導員さんの世代交代もうまくいくと考えます。</p> <p>民間では、すぐに補充はできても、定着はむずかしい職種です。子供を見守り、愛情深く指導して下さる指導員さんを増やせるようにしていただきたい。</p>	<p>一般的に給料面の向上が雇用を安定させる要因のひとつであることはご指摘のとおりと考えます。</p> <p>しかしながら、他市・他業種と比べても同等若しくはそれ以上の待遇があっても、人が集まらない、安定しないということは、別の理由が考えられないのか等の検証・検討も必要と考えています。</p>	03. 指導員
39	<p>学童保育の民営化について十分調査し、アンケートを保育所に通わせる保護者と留守家庭児童会の保護者にすべきと考えます。</p>	<p>持続可能な児童会運営の検討においては、いろいろな可能性、形態について検討する中で、保護者や保護者以外への意見交換の実施等について検討することも必要と考えています。</p>	09. 民間委託